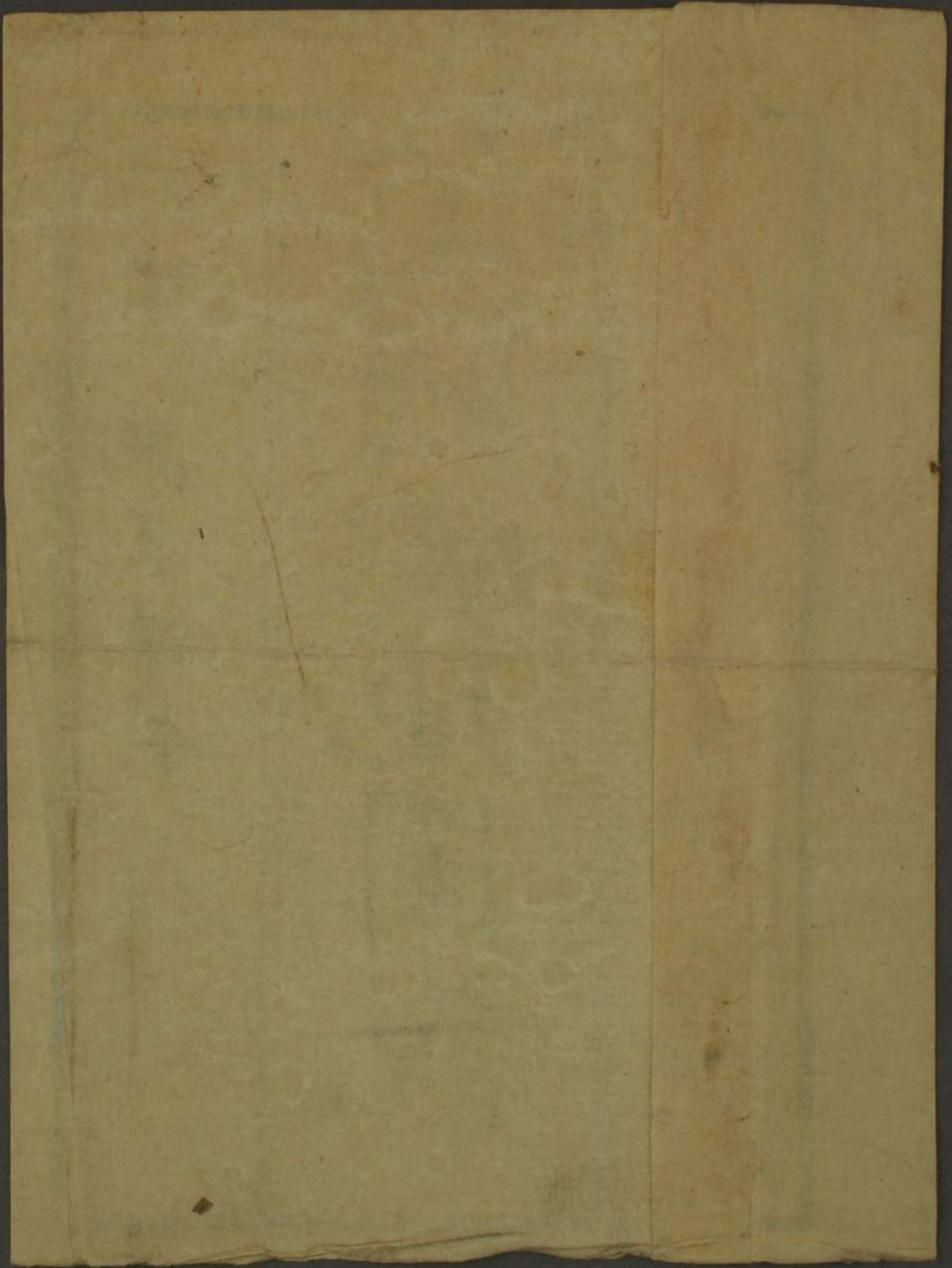


西洋人撰述譯本

萬國輿地圖說

雲峯閣藏梓



西洋人撰速譯本

萬國輿地圖說



雲峯閣藏梓

萬國輿地圖說

○總說

大地の物と云其形も渾圓みて極めて浩大小其周圍何の地と問ひ乍悉く人物栖止草木繁茂ちぐゝ但其形圓球の如きを以て此地方より彼地方の人と論づると凡ち或へ下低の所ふあり之と足版相對する國と云○按づる小支那國ふ促版相對する國即ち北亞墨利加地方小丁ころ也一然まども彼地より此地を見るとそり

不許  
氏贈

高麗印藏記

昭和45年7月1日寄

又同ドく下低の所小あること尚此より彼と見  
るが如一是と以て相互小己きの極止すふ而と  
以て高知と云其頭上に載く所と以て天と云  
を事互小殊ナリトカニ又地球は引力ありて  
百物を地上小引くこと対の地方といへども  
我小殊ナリトカニ是萬物地に向て落ざりハ故  
ニ所以ナリ。洋中々々東西南北と問ひ何を  
ナリ來る所の船も先づ第一みハ遙ニ其檣上を  
見漸く近くとれハ舟形旗號と辨ド後小ハ船腹

と見るふ至る是一細事みて地球の圓形と證そ  
る小足ナリ。地球の周圍と測量する小其里程  
五千四百里ナリ其平面ハ九百萬箇里方積其重  
厚ハ二十六億五千九百萬箇の里方積ナリ。此  
處多く稱する里數ハ「インランド」の二萬三千  
六百十四尺と一里と定めナリの也其一尺ハ  
即ち我一尺零三三五分丁る。其中三分の一ハ  
大地ナリて二分ハ即ち大洋ナリ其一分大地上  
小住人員と算するトナリ殆ど十億小及べ

全地球を分つと云ひ亞細亞洲アシアハ十四分の一少居り歐邏巴洲ヨーロッパハ五十四分の一又居り亞弗利加洲アフリカハ十七分の一兩亞墨利加合して十六分の一少居ると云

地球ハ原と暗體アシマツキをまとども太陽オトコ面する部ハ其光線と受て白晝ヒラカツとより又暖氣と生ぜ然きとを地球自轉の勢ひによく太陽少反アシムする所に暗黒とより又冷涼ルヘリヤとする但此地方ハ斯の如く太陽少反アシムし暗夜アシナガとる所其足版相對する諸州スルメイハ

却て白晝とより暖氣と受ること尚我初め太陽少對アシタセーと云に殊シテナリトヨヘ是即ち彼の晝ハ我的の夜我の晝ハ彼の夜とする所以ナリ  
地球太陽の周圍ヒラマツキと旋繞センヌウするふ常道あり此を本轮と云地球東少向て其本輪と運轉エントラン一止スルざると晝夜舒速ヤハラギあるとより然れども其本輪の形橢圓を多と以て三百六十五日五小時の即我二時半〇四十九分の時間と經過カタリヌキする所其原所少廻歸カクスミモ是即ち我の一年うら

地球の運轉する本輪<sup>モト</sup>循<sup>スル</sup>圓<sup>カク</sup>なると以て其丸小依りて太陽と地球の距離<sup>リキ</sup>ふ甚<sup>シ</sup>遠近の差<sup>シカ</sup>を生<sup>ス</sup>然れども太陽より直線<sup>レバ</sup>ニ地球上と反射<sup>スル</sup>と<sup>ト</sup>ハ遠近小隨<sup>シカ</sup>變違<sup>スル</sup>ありふハ非<sup>シ</sup>其地球太陽との距離<sup>リキ</sup>太<sup>シ</sup>遠<sup>シ</sup>ニ<sup>シカ</sup>ニ二億零五百萬里<sup>リ</sup>あり是西洋の毎年十二月廿一日の測量<sup>ソリヤ</sup>から其最も近きところハ一億九千五百萬小至<sup>リ</sup>是彼の毎年六月廿一日の測量<sup>ソリヤ</sup>ふ據<sup>スル</sup>と云

地球太陽と距<sup>リ</sup>る遠近小依て四時寒暄<sup>フンセン</sup>と來<sup>ス</sup>モ

ハ非<sup>シ</sup>惟<sup>シ</sup>地球太陽ふ面<sup>スル</sup>歌側<sup>スル</sup>度<sup>スル</sup>小從<sup>ス</sup>其光線<sup>スル</sup>と受<sup>ス</sup>るも亦多少<sup>シ</sup>有<sup>リ</sup>是を以て四時寒暄<sup>フンセン</sup>と生<sup>ス</sup>ぞ

地球の運轉<sup>スル</sup>本輪<sup>スル</sup>里程<sup>リョウ</sup>と測量<sup>スル</sup>と<sup>ト</sup>是を一億二千一百五十萬零四千二百四十里<sup>リ</sup>あり地球此遠道<sup>スル</sup>と一年小運轉<sup>スル</sup>盡<sup>ス</sup>一原路<sup>スル</sup>回復<sup>スル</sup>と是と以て推測<sup>スル</sup>と<sup>ト</sup>は地球一秒時間<sup>スル</sup>本輪<sup>スル</sup>東小向<sup>スル</sup>運轉<sup>スル</sup>すこと殆<sup>ド</sup>三里半餘の遠<sup>シ</sup>ニ<sup>シカ</sup>至<sup>リ</sup>ベ<sup>シ</sup>其行度<sup>スル</sup>神速<sup>スル</sup>と人智の及ぶべ<sup>シ</sup>

小あらうぢ

地球毎年太陽と一周廻轉する外其體中又更小  
一箇の本心ありて自ら旋轉を是と自轉と云ふ  
其本心と廻轉一盡を二十四小時。即ち我十  
二時。と以てそ此晝夜と生ず。所以をり  
地球其本輪と旋轉にて日夜休止する事無くと  
以て二十三度半の角形と生ぞ。是故。大陽北極  
の方位小向て昇騰となること。彼の三月廿一日  
より六月廿一日。至るまで。赤道。晝夜平等

線。の直北二十三度半。小至る。其翌日。どうして  
彼九月のサ一日。小至て。再び舊との赤道線。小  
復。夫。どう。彼の十二月のサ一日。また。ハ南極の  
方に向て循行すること。二十三度半。其翌日。どう  
して彼の三月廿一日。小至りて。再び。旧の赤  
道線。廻歸。斯の如く。一上一下。昇降する。を以  
て。萬國一歳中。春秋二分の兩日。晝夜平等。を  
除く外。總て晝夜の時刻。長短の差を生ぞと  
云。但赤道直下。小丁る諸州へ。此例。又あらうぢ

凡例

一書中記各國廣袤大小每書里方若干是積方一  
里者之數而言與曰四方幾里不同其一里者率  
皆依和蘭國定法間或依獨逸國定法者必舉其  
國名以分之

一和蘭國定法 一里五十六丁餘乃丁 我一里二  
十丁零二步

一獨逸國定法

一里七十四丁餘乃丁

我二里零

二丁

Luid.  
Noot.  
Amelia  
Flag.  
Asturero  
Haar.

亞 墨 利 加

旗

章

圖

桅船首

同上



桅船尾

同上



植端帆船  
横桁尾

同上



幹米即州  
利北

政治  
共治



同上



同上



治和即  
州政共

里



利南比閣  
幹米亞龍



白露



兒伯西  
利幹南



墨是可



萬國輿地圖說

亞墨利加洲總統  
名義小曰亞墨利加蕃語  
乍新世界と云義  
なり一說小亞墨利加波爾杜瓦爾國王の臣  
みモ始て此國土と索搜セアメリ屈氏の  
名に本づくといえり或曰此地と探討セハ  
意太里亞國獒弩亞の人閣龍と以て噶矢とそ  
然バ則ち此洲と以て閣龍洲と總稱して穩當  
なりとも



此一大洲ハ歐邏已及び亞弗利加の極西小より  
其海路甚ざ近き外ハ五百里小過モ其地の廣大  
なる亞細亞洲の外更小比倫モベキリのナム今  
把那麻の地峽と以て大別一て南北二大洲とに  
中又數十国小小別モ天度ハ北極圏より初より  
南極圏小近き外小亘る其氣候寒熱各国同ド  
ぞ其人物數種あり今別て三大別とモ一曰土人  
種ニ曰西洋人種三曰「コリウラレレス」人種○按  
る小西洋人此土人と婚姻一て産しりりのとミ

ユルタ」と云其面色容貌別ふ一種と有モ又其種  
亞弗利加人種と婚一て産しりりのと「カルバニ  
ケル」と云又色澤と異ムモ其他白哲人種黃黒人  
種と悉一て産しりりの更小又其俗と同ドうセ  
モ今此種と總稱一て「コリウラレン」種と云 其北  
極圏小近き外ハ四時雪あり毎小大霧茫茫ト  
て咫尺と辨ゼ冬月の如ニハ晝日絶テ日光と  
見ゾ其土人身材僅ふ四尺其火地小近き外ハ大  
不是と同一くビ其初め西洋人此大洲あるとセ

あくべ今と距る事三百七十年前、伊斯把泥亞禦  
旅の臣名ハ閣龍幼トリノく航海術と講そ居恒  
小以爲凡大氣の流動にて風と生モるハ必ず相  
障碍モる処の國土モルふよろくぞり今洋面西  
方の風と得る外のへ是其方位別一寰宇ある  
あくべ後航海の間異人屍及び異木の漂流モる  
と見る是小於て閣龍意倍決し遂小之と国王ふ  
聞そ其王妃閣龍の志と嘉し拔て總督とす且  
一萬六千金とあくべ其糧食費用と助く 我明

應二彼八月三日閣龍遂小纜と同州ハロス港不  
解ミ其鍼路と西小取るそきうして浪と破る  
と三十四日空水淼茫の外一の目睫と遙るもの  
は是小於て舟人意大小届一閣龍と罵て曰く  
汝今より三日と限り新國と探討し得ざん  
汝乞と如何とももろとヌー乃ち其下官コス  
コヘトル小命ト擣上小上らしめ且諭して曰く  
汝ア人烟の火氣と認得バ急小大声と發して

告あらそべり既く檣上大ふ聲あり衆大ふ  
よろこび進で閣龍と拜を遂不急小舶と其如ふ  
寄モ果て一大島と得テ因て其地と名付て  
聖ナルハトルと云。北亞墨利加州花地國南邊  
の島乃名○閣龍又此地より南小航にてハイ子  
島と得テ後此地小往来をるを數次我永正  
三年始て其本地と得テ尋で五年波再杜瓦爾  
國王の臣亞墨利屈氏と云者閣龍の大功と欽慕  
一亦航海して其地の南部テルラヒルマ。今

瓦隸那多の地に至り土地と拓墾もと數所  
大小其地理物産と盡セリ爾來西客此洲の南北  
地方小至者一年ハ一年も多一近世小至  
りてハ其地過半西洋諸邦小併テ是風俗亦漸  
く化一飲食衣服の善美至らざれヌ一又其山  
川より夥しく金銀銅鐵と產もと以て資用闊  
所々一但哀じベシハ土人西客より傳染ある  
疮瘍或ハ其苛政又ハ干戈の絶さざる為小命と  
モ者勝て算べ。其初め閣龍此地小航セ一

とう今 我天保八年小至るまぐ暦數凡三百五十年みてて鬱洲の土人種僅小二十分の一と餘そく云其地の南北洲と合ひて廣袤里方六十萬箇土人種三千萬他邦人種ハ算ともべうべ。近く十三年前和蘭人記載そく外土人六千萬口とち

南亞墨利加洲總說  
此稱ハ把那麻の地峽とう火地小至るまぐの總名をう其部中祖山暗得の大山脈三岐とう其北部もう南部小藩届そ其嶺ハ赤道直下と雖共

四時雪あり就中其最高峰とシシホラフと云其高と海面と抜て直立ニ萬百四十二尺。一尺我一尺ニ分強。○我享和三年西人ヒュレホルト々々々の此山と測量して足跡其半腹小及ベリと云當時自ら以て天下の最高峰とうそ其山脈中間の如ハ多くハ土地平夷みて夥しく金銀と出一又頗る銅鐵五穀と産そ惟其山脈ハ今小至りて野人の境界みて言語相通じると得ぞ其地理風俗も亦審りにそぐふ今其有名大邦

ト左小舉ド

新瓦辣那達一名金加西蠟此國伊斯把泥亞國  
小隸そ今分つて三大鎮八省府とも其首府を  
ホルトヘル口と云其地狹隘すて互市繁盛  
ナリ一店の租稅數百金下うべ其最盛ナリ  
ト之れ食料逆旅の價平常小十倍を商賈貨物  
ト鬻高く小權衡度量と計るト遑あらが把那麻  
府ナリ日々に金板銀芽と輸モハ驢馬百餘頭  
ト役モト云是と以て世人稱シテ世界中第一

の互市場とち然と此地の氣候多くハ不  
和みて行旅病伏モ者亦少々ナリ春  
秋  
終ナリ十四日の互市ナリて其中間死モ者殆  
四百餘人及ぶヘト近百年前英哈喇人六隻  
の大軍艦と率ひて大モ此地と擾乱モ然モ共  
遂モ其志と逞ムと能ウゼ其北亞墨利加  
に連續ナリ地峽と把那麻と云其地幅頗僅ク  
ハ十二里ナリ近世西洋人航海不便ナリと  
以て此地峽と拓鑿シテ南北小舟楫と通ゼン

と議を但其外暗得の大山脈蟠屈するを以て功と成をとどより難。其議遂行そとぞ其内地の北海邊小大府ありカルタゲナと云人口二萬五千初め此地獨立の一小王ありに三百年前伊斯把泥亞の兵卒大舉して大ふ此地と擾亂を中に一女子あり年十八其勇敢當るべく忽ち兵卒八人と殺傷をと云又此地の港舉ふ堅固の城塞あり寢來るとき急ふ鐵鎖と引て其海門と閉づべ。其

東方又大有あり小勿捕祭亞と云許多の小嶼あり土人無數の大橋と連架して往來小便ふそ其邊傍カラカスの内部とアンタリュシイと云初め伊斯把泥亞人の此地と取や一日此土の酋長名ハ某なる者伊斯把泥亞も置く所ノ士人ヒラアルシアスと招て之と饗應を士人計策と心中小設け其招ふ應し自ら伊斯把泥亞酒と携ふ酋長其奸計ありとぞ知らムロふ任ぞく鯨飲モ士人某其醉小乗じて酋長と

刺殺スリマツル、亦併せて其館と焚く土人此舉スミヨを聞カキ  
衆と率ひ來りて其舶と攻む舶司シニコヨリ  
ナリ者兵士三百と率ひ血戰スルダムして大小之小克  
つ然れども其罪アリズミヒラカルシアスス小在スモリと以て  
こきハモイを擒ムクみて餓死ゲイシセリむ是より土人始て  
伊斯把泥亞ヤシバニヤの命小服スケクモと云其亞瑪鑽川アマゾン小近スモリ  
き外ハモイと「イア子」と云伊斯把泥亞ヤシバニヤ佛蘭西波爾爾ブルガリ  
杜瓦再嘆啞エサヘンモモの人此地と分領ハグリを其一部亦和  
蘭國小隸ハリ十馬ムと云其廣袤殆んハリ和

蘭國の大ふ似<sup>シナリ</sup>其府とハアラアマリホ<sup>シタ</sup>  
云人口ニ萬人 我寛政中此地嘆人ふ<sup>モチ</sup>居<sup>モチ</sup>ラ  
る幾も無<sup>ク</sup>て復返<sup>ル</sup>與ふ尋<sup>フ</sup>亦陥<sup>ツ</sup>つ<sup>ク</sup>近ニ  
十八年前和議成て永く和蘭の所有とする 又  
レヒホラワ<sup>ル</sup>大山腹<sup>ハ</sup>一部落<sup>アリ</sup>祈多<sup>ミタ</sup>ト云入  
口五萬七千寺院極<sup>ム</sup>多く多<sup>ク</sup>亦大學校<sup>アリ</sup>  
生徒<sup>セイトウ</sup>と教諭<sup>キョウユウ</sup>モ世界中人煙<sup>ジテイジウジン</sup>の部落<sup>アリ</sup>如<sup>シテ</sup>此地  
より高<sup>タカヒコ</sup>ニ<sup>シテ</sup>此部本自立主<sup>シタリ</sup>トニ二百  
年前李露王小併<sup>モウ</sup>セラミ百年前又伊斯把泥垂<sup>ヤ</sup>

人ふ陷まらふ後伊斯把国王の命ふ因て此地  
と割て新瓦辣那多部中に入る闔州過半の山  
川曠野ふて五穀給せざる所多一氣候の總  
て熱一歳の中乾湿の二大時節あるのみ邦  
人顔面深黒みて天資勇猛なう毎ふ裸體ふ  
てよく水ふ投そ其卑賤の入ひ間々セレハ  
ス葉と以て僅ふ陰部と覆ふのと其家屋に極  
て大家或ひ八百人或ひ千人を住むと云産  
物上好金銀采。洎夫藍吉貝煙草桂支丁子鳳梨

真珠數種野畜等うち其人口の數詳をも或

曰百十萬

○亞瑪鑽此國名は本亞細亞洲中北高海小近ミ  
丸ふあり亞瑪鑽國の名により傳言ふ其地  
の婦人強壯男子小勝ると西人始めて此地小至  
りりと其婦人の猛勇古昔の亞瑪鑽國小滅ぜ  
どふと見る故ニ當時此名稱あり後土人も混じ  
て國名となぞ者うち其方向李露伯西兒の間小  
もう土地廣大山岳其八九小居る國王を惟野

人中に強者ありて外々小割據を西洋人其地の  
不毛たりと見て敢て其地を侵奪せぞ部中大川  
あり又亞瑪鑽河と云其源と同州ラフリコヤよ  
り發そ蜿蜒屈曲ちるゝと殆ど千餘里遂小亞太蠟  
海小注ぐ其港口濶さ四十八里海水えがためふ  
幽味と失ふ者凡十八里餘河中夥しく大魚を產  
し亦金砂を流そ土人之と製鍊して多くの利と  
獲ると云惟惜むべきハ河身暗礁多くにて舟楫  
と通じべからざる此河毎年夏秋の間雨降る時  
洪水其近隣二百里の間小浸溢を邦人預り時夏  
と量りて之を避く然とも水退て後ハ其地膏腴  
とすり其年穀を納る事常に倍と云故小邦  
人水の多少ふりて其年穀の豊歉とくもとくと  
殆々アーフリ加洲地方阮日多国の俗の如一輿地  
上の大川極めく多くと雖ども大東銀河一名リ  
ラデラフラタと除く外此河小比をべき者又一  
李露本自立王あり三百年前伊斯把泥亞國の  
軍艦總督名ハニサルコ小併せらる。增譯采

覽異言小曰 伊斯把泥亞人此國王名アーリ亞答拔  
里拔リバと擒ミムと土入タマシと釋シルとと請シテふ因イて  
國人ジンを責シメて曰く金カネと以テて其幽室ヨウジム小滿シラバ釋  
多ハーと國人其命の如くに吏リ又更アフ小責シメて曰  
く銀カネとみミと多ハー國人再シひ其好アヒメのゴくクち  
其幽室長ヨウジムさニ丈ニ尺廣ヨウカウさ一丈七尺其高ヨウカウさ跋  
て手ハ伸スぶハーと云ハ○分ハて上下二大部アツダブとそ  
中又數部落スルハシタタケ小分ハつ其上部アツダブハ暗得山脈アヘンタクサンメイ小近アハラ  
丸ハラみて海シマと距スルこと十五里氣候キョウ熱ハヤハヤ々ハヤハヤ

其下部アツダブハ土地平夷ヒンイみて五穀ゴクと産スル多ハー氣  
候ハ炎熱エインナツ堪ハシマゆべハベラダ又終歲アツメ雨降ハレハレらハラく  
唯時々海水シマツキの蒸騰氣マツシキ小因りく草木ソウモクと湿ハラハラとの  
ミ此地の首府シテフとリマハリマと云ハシマリマ川畔ハラハラハシマ小あり堅  
固ハサクの城寨シテフと營ハシマと郭門カマクラ七街衢セブツキ三百五十五寺院  
四十及び大學校ハシマあり其商口五萬互市繁昌近  
隣ハシマ此小及ハシマふ者ハシマ故ハシマ伊斯把泥亞國の總督  
是小住ハシマ一三年每小其祖國小交替ハシマもと云又其  
地ハシマと距スルて七里ハシマて大港ハシマあり大舶ハシマと寄ハシマそ

べー近百年前此地大地震あり死傷ちる者算  
そぐく。爾來人煙寡少互市甚ど盛ん。ぢ  
風俗土人農耕と業とせば唯哆囉緘。吉貝。皮革。  
金銀等と製造を其婦入へ毎ふ俠骨あり產物  
金銀。五穀。繭絲。砂糖。酒。幾那。煙草。銅。錫。鉛。皮革等。  
闔州廣袤里方四萬四千民口百四十萬二千軍  
人七萬四千二百

智里上下二部小分つ此國往昔幾多の小王あ  
りて々々小割據を三百年前伊斯把泥亞國小  
併せらる其境界北へ索露小接。東へ刺伯棘  
多南へ巴太溫小劃る其上部の首府とヤゴと  
云人口四萬六千其下部海小瀕。その地の都府  
とコレセブチヲレと云人煙頗る繁。其土地  
總て肥沃五穀と産そぐ。其上部暗得山小近  
それハ四時雪あり然とども氣候溫柔恒小春  
日の。域中十四の火山あり夥しく金銀。水  
銀鐵。山鹽硫黃と出そ土人身高長大みて戰  
と好之或ノ僧侶と尊ぶ又絶て通販互市の事

をえど近世域中屢々戰爭あり 伊斯把泥亞  
人之と征服するをあくともアラウカス互ル  
セスのニ落最も甚」と云 閩州廣袤人口共ふ  
詳らうなうぞ

伯西兒此境界北へ亞瑪作搦南へ刺伯辣多川  
小劃る此地往古ハ自立主あり 我明應八年  
波爾杜瓦再國王先づ試ミ小數多の罪人と此  
地小移モ尋で四十年又大都督と置く其首府  
とヤ子イロと云入烟擲比一店の租稅每小數

百金小下らぞ其互市の盛をると喃囉府小鬚  
鬚くり其港口ふ巖礎あり高さ千仞港内又五  
大洲の商舶駢集一て危檣林立と云此地三  
面皆青山あり其半腹小數多の堡寨と設け橙  
林其間小雜り港内十里と一覽そぐ一其風景  
の明媚なること畫圖小異ふと云一四方の  
旅客こきが為ふ游興逍遙の意と生ぜざる者  
ふ一府内一飛泉あり覓と接一て遠く二里外  
小引く高さ十五丈又竒巧の末磨あり入力と

煩しき極めて便うる其近山小金坑あり 穂ス  
く鑛と出そ時よりてハ一日ニ驢馬八百或ハ  
千頭と役そらゝ至る邦人其三分一と波爾杜  
瓦爾小貢もと云ふ近く五十年前佛蘭西偽帝  
とト那技再的の乱ふ波爾杜瓦爾の太子其親  
族と携て遠く乱と此地ニ避く平定の後咲咤  
唎の導きと以て軍卒一萬五千土人二萬千人  
と率ひ大船數十小駕カツにて其本国ニ還ると云  
部内氣候常小變化あり然きども大約日中ハ

炎焚アラカルムて夜間ヤクジムハ涼風あり其首府ヤ子イロ  
ハ朝夕白露の降ること雨の如一故小此氣小  
馴シムる旅客へ多く皮病熱病小々有り  
土人農耘ノリと事とせど但小漁獵通販と生とそ  
一年獲る所の鯨油十五萬桶小減せど又山林  
小夥サガタ一ノ蘿木と生ぞ故小古昔西洋人此地と  
通稱して蘿木國と云其地の七分ハ皆波爾杜  
瓦爾小屬モ閩州廣袤里方十五萬箇民口二百  
二十萬土產最上金穀物煙艸藍砂糖洎夫藍吉

貝。水晶。吐根。薑辣巴等。

刺伯辣多本名「ヒュサイロス」其境界北ハ把刺寡  
ひ小至り南ハ巴太溫西ハ「チユルユマニ」  
接モ其内地ハ山岳多一雖モ東南小面も

部ハ土地肥沃其首府ト「エノスアイロス」と云  
人戸三千民口四萬府中大學校あり生徒二百  
人其西部大曠野あり野牛數百千羣と々モ土  
人獵一トハニバス「小輸」諸什の皮器と製造  
モ又一府ありホトセイと云商戸二千七百人

口ニ萬五千六百餘其府内銀墳あり此地より  
大山脈ト踰ヘテ李露小至る官道と拓く路程  
四百餘里中間傳舍あり近三十八年前噶哈喇  
國人大小此地を奪掠を後四年和議成て亦伊  
斯把泥亞小復モ一説小曰く此国本伊斯把泥  
亞小屬モ土人擴悍みて反覆常ナリ皆伊斯  
人是と征モリてありぞ因て大小其都城數  
府を陥り其人民と戮屠一ト還る後獨立國  
とを乎域内の河とリラデラフラタと云譯

にて云へば銀河の義ナリ此川砂中常小銀粒  
と流モ其光彩燦々トテ星の如ヘ河身極ウ  
て大ナリ其源と伯西兒の南部より發トキサ  
ライ湖と過ヘ中间三河と合ヘて蜿蜒屈曲殆  
ど八百里遂小其南海小注射モ其海口濶ミ四  
十里中小數多の島嶼と納ル其大ナリこと輿  
地上第二位と占ヒト云ヘリ

巴太溫一名墨瓦蘭國此境域其南岬墨瓦蘭峽よ  
リ刺伯辣多國界小至る凡そ三百五十里其東西

ハ幅頃每歲同ドリモ三百年前伊斯把泥亞人  
此地の火地ふ近シ海岸小數多の城寨と築ミ俄  
卒敵員と置て往來の商舶ト謀金と取り且つ  
外寇を防禦モリトカた嚴ナリと云其地小本國  
より民口數十を移リて稼穡セム然れども三  
年の久ニモ遂ル其功と見ゼ後其人民飢餓小堪  
ベカラモ城寨と捨て食ふ刺伯辣多國小就ミ便  
空と得て本国小生還モる者僅ニ二十三名と云  
續て二百年前噶喇人名ヘ玉函那爾ト羅普其

國王の命を奉りて其地の海岸を測量も其内地  
ハ棘新叢茂一或ハ硫確磊嵬として行べ  
土人又聚居部落と為さぞ立穀至て寡少をう近  
世意太里亞人名ハパキヘタと云者此地の海峽  
ふ於て親く土人と見る其身材皆中等ナリて各  
獸皮と被り手ふ強弓を構ふと云へり此説一度  
出一ナリ往古此地を長人國と名づけ一事の浮  
説と一歸セリ或曰此地の人衣を把里斯府小藏  
するを見るふ其長さ五尺ふ足らばえと以て觀

ミバ亞細亞人より見るトヒハ長人國ナリア  
歐邏巴の白皙人より長人と稱してハ穩當ナリ  
モ氣候ハ懲て寒シ其近山ハ四時雪あり產物伊  
斯把泥亞ヨリ移セ一馬牛種其他狐兔虎駝鳥蜜  
蠟諸莫一説又曰此國今ハ悉く伊斯把泥亞の所  
屬ナリ或曰此地の過半ハ伊斯把泥亞小隸せぞ

○補

○閣龍比亞○新瓦辣納太一名堅土干斯臘即ち  
こをナリ○此地原是班牙國小隸そ今と距る事

二十四年前彼のトニ月十七日丁て國人大小會議にて此州是班牙國小比もとば疆界物産皆そぐそう而ると甘んじて其苛酷の命令と受る只其勢ひと恐懼そきばそう自今以後ハ彼と敵國となり軍船來るとミハ韓國の人干戈と取て是ふあくふづく衆其議小一決ト共和政治の大獨立州となり國名を更めて閣龍比亞と云。閣龍氏亞墨利加洲小航セトキ初めテ大地小上陸セ一ハ即ち此地より故小名く本編小参考

モベー。其地赤道線の南北小豆り南緯九度より北緯十二度小至り疆界太平海より暗得山嶺及び祈多國を越ヘ亞太臘海小達トガライヒセ海岸小至るまでハ皆其所屬モリ南部ハ近來獨立トシテ白露國小限り北ハ把納麻と經共和政治立トシテ是班牙の命令小め。一千八百十一年。此土人是班牙の命令小服屬セド其政官數人を擒ヘ禁錮ト不羈獨立の地モスルンを謀る是小於て是班牙國より軍

艦數隻兵卒七萬と率ひて此地を伐つ干戈止まること殆ど八年閻龍比亞大小敗衄其鋒を山部小避んと是時小丁て部内へ子ミラ國の一總督ボリハルと稱する者智略ありて衆心を得たり其本国敗るを聞き屈強の兵數萬と帥ひ「コルチルレラス」。暗得山最高峰。と越へ急小其不意を伐んと躋ること數里下て山脊高峻天小聳へ捨城落んと欲し人畜越波をくづさる状を見る加之山路兵狼水草の便りく飢渴にて死する者十小七八兵士疲勞寸歩も進むことを不得ぞ衆師と反さんと亦ボリハル曰く此地へ既小山嶺をう今もう後へ下坂をう又水草と得る處あるも必ずり還りて山間小渴死んより敵小赴き國家の為小偉功と立て名と後世小垂んことへ諸子の本心小ありゞや衆其言不服し皆諾モボリハル馬と殺し其腹中の水波と出一て衆小分與一其肉と屠て之を食し又勇氣と鼓して進ひ兩日を経て水草ある地小至り軍と憩

ふこと六日生氣増々加リ又四日と経て是班牙の陣小伐入り互小勝敗あり越ると一日ボシカ○地名○ふ出陣一閣龍比亞の兵勢を合一萬九千遊兵三千炮兵一千二百と帥ひ是班牙の將小戰書を送り戰鬪ること二次夜攻一度大小勝利と得たり是よりして土人ボリハルと尊信しきこと父母の如く且つ此地とへ子をとて合して其大總兵督とえさんとと請ひ是事を書小記にて普く近隣諸州小移告を但其後も國家

安妥の日なく稍もそきば干戈を動かすとあると以てボリハル共和の政典と定め賢者數人と擢用して兵官政官教官とえあ其法度ふ曰凡そ全國の大政官小任ざる者の學術兼備して士民と愛憐すること以て第一とモベ一其次宦の政廳より出そ所の法典命令の善惡當否と公儀モベ一其下官の百姓の辛苦と察知一訴訟の情偽と分別一四民として各々其外と得セ一むべ一又學横と建て敷斜と分ち生徒の其長幼賢愚小由

て天文地理測量政典等の學と教へ又演武場と  
建て煩炮馬術槍劍と煉磨を其他諸般技藝皆至  
らざる者ヨリボリハル又新小命を發し今次の戰  
場小白骨と曝セー者の靈魂を祭らんが爲小ガ  
ラボサ。地名。ふ大石輪塔と建て別小新府を  
造築シ之をリベルタードルボリハルと名づけ其  
斯把泥亞の善政と免ミ共和政治の獨立州と  
り慶儀及び十戰七勝して凱陣リ吉兆と後  
世の遺法と爲スンガソウ毎年彼十二月二十五

日より三日の間大祭事と爲し上下懽喜醉倒し  
て互に相祝として典禮と爲ヒト云後數年より  
てマラカイボの地及びカルタケナ府の如ヒ是  
班牙の金庫と稱セリ地皆ボリハル小掠略  
セリ又祈多國の一府キアヤキイル。是班牙  
大政官來住の所の如ヒも皆其所轄と有リ此  
府ハ大平海小瀬にて白露との互市場ナリ尋で  
キアキマラ。地名。も此政治不歸を此地不極  
めて繁昌の大府もう人口百二十萬方置ヒ北默

時科國の宇革堂ふ接し南へ把納麻と以て本府  
閣龍比亞ふ連る其東西は皆大洋ふ瀕し朱穀一  
年中再収を其價の廉なること土塊の如く白銀  
の如そハ土人車輪と云ー或ハ馬羊の轡勒と飾  
る故不是班牙人此地と銀國又世界の極樂城と  
云前小云へる如くボリハルニ既ふ是班牙の寶  
庫。即ち美地と云。と掠略をとつへども毫髮  
も土人と犯し傷ること無と以て庶民之と稱し  
て大父と其命と謹奉と後干戈全く休ミ四民

歎歌)て不羈国とぞうりーと祝とは是時ふ丁て一  
鼻官某上書ーて法典の理非と論ド且曰く凡歐  
邏巴船の是地ふ支易ぞ者定額金と某官小納  
るハ定例然りとと惟書籍地球圖渾天儀象限儀  
及び測量小關諸件ハ特小謀金と免ぞべーと  
云へり又羅甸學及び是班牙學と建つ八九年の  
間小學術大ふ進ミ文物の盛を事北米利幹洪  
和政治の諸州小勝る是班牙本國ふも減ぞど  
云但此州疆界甚宏大ふて政令至らぞ多所あ

るとして大別して三方鎮とを第一へ「エキユアト  
ル」。按どる小「エキユアトル」とい即ち赤道より是  
其直下の國土と稱と。第二へ新瓦辣納太第三  
へ「エキユラ」三府鎮共々大小政官數人ありて各  
其司職と勤む其人種の繁衍へ往時不比を過ぎ  
更ふ二倍をと云然とども遊民の多くて田  
圃と耕耘する者寡とて以て新ふ命令を出。三  
州の僧侶と還俗せりめて農事につゝしむ其大  
數二十四萬餘其他尼女十六萬其命令と甘受せ

ぞ他州より逃れ避る僧尼四十萬今又福島の人民  
と雇て其事不充んとを其策果して行ひあくや  
否と知らぶ是節 我天保三年の事より尋でニ  
年新ふ商舶と造り私く四方よ通商と中よ就て  
佛蘭西國とい殊ふ親睦して互よ海舶と往來を  
と云是ふ於て方今世界中全備する州縣の  
一と稱せらるゝ至る後數年ボリハル殂そ是  
とマルタの地ふ葬る尋で大政官より嚴令と出  
一ボリハル君の遺骨とカラカスの地ふ改葬

其地小碑石と建て大功業と記し長く不朽小無  
是又其忌日と以て一歳中の祭日と之と祠事  
もること最遠ノひと云。按もろふ本篇新瓦辣  
納太中小此地の產物と詳記を故ふ是篇こまと  
略と

知里此地原是班牙の所屬小係る今と距ること  
二十七年前より不羈特立の共和政治州と  
○按もろ小其方疆位置ハ本篇中小略記もろと  
以て此小贅也。州内地形小隨て三方位小分

つ一ハ山嶽ニハ山夷の沙漠三ハ膏沃の平地々  
り又大小河川暗得山より發出ノ内を流注  
舟楫の利頗る多一惟十六の火山ありと以て時  
々大地震あり故小邦人家作と造營もろふ小村  
と用ひ堅木瓦石と要せば是破碎と免ら所以也  
氣候海風山風其溫度共小人ふ可なり其他植物  
天地間小產もろき物皆此地小生ぜざるをな  
又西國米と上と是と以西人此地と米利幹の  
穀倉と云某生此地小於て二百種の藥草と費る

とより其内部より出そ所の獸畜中ヒコクナギ  
アナゴ一名リマ。以上獸名。と奇品トシテ歐邏  
巴種の畜產も亦繁息モ河海ふハ鱗族ト產モ  
こと亦多。其所屬シール島小ハ夥しく大口魚  
及び鯨魚ト養て邦人之と常食ト。惟此地小毒  
性の蛇蝎と見ゼ假令鷺鳥及びバキ一名知里獅  
子の如き家畜と害モ者ありと雖ども人類小  
害せざ血蟲の種類多ミ。世界第一とそ中少就  
て奇偉華麗なる蝶あり兩翅と張るトにハ四尺

不及ぶと云邦人近世不至テ歐邏巴。ヨウ蘭虫を  
傳ヘテ緞帛と織リ近傍諸州小互市。州内何山  
と問リ。皆銀銅鐵砒石。硫黃。亞鉛。水銀。及び銅金  
山鹽。石炭等を出ること最多。此地不往古より  
居住する人民一とアフウカ子。と云其性不羈  
豁達。オーテ。膂力人と兼ぬ。ニとビルセ。と云其  
性質朴。テ身材長大能く戰ふ。按もう小往  
昔。此近傍巴太溫人と長人國と稱セ。是等の  
人種を云ふ似。此二種の人民相集合。來

りて歐邏巴より置く所の城寨ふ逼ることあり  
然きども火具矢炮と用ることと知らず閩州廣袤  
一萬零四百箇里方積人口一百二十萬白哲人種  
七萬二千餘此地二百年前よりして是班牙の所  
轄うちふ方今へ獨立して共和政治と有る然  
きども五十年前までへ是班牙の加比丹來往し  
て土地の課金を收む今を距ること二十七年前  
彼の正月元日其人大會合「ベルナルド」と云  
へる人を推て上將とす一軍威と張り是班牙政

所ふ逼んとす是班牙より普く諸州ふ移告せん  
ことと約モ但其政典未だ備具せざると以て部  
内如々ふ干戈と動ることあり故と以て上將ベルナルド武宦文官教導官と置き専ら治平の策  
と設くと云此州の屬島ふじルウ諸島あり其數  
大小三千餘住人十七萬餘皆漁獵牧畜或ひ材木  
を伐出して其生と遂ぐ閩州の首府と聖牙卧と  
云人口四萬五千白哲人種ニ萬餘人府下も大政  
廳一小政所六ありて政令と出そ政宦の數大小

大小二百三十人。十二年前記ある外の邦人白露都府利麻巴大溫等ふ至て互市と其物件ハ穀物酒獸肉馬鯨油と第一とそ近世ハ其隣疆ラブラダ河の彼岸小ある共和政所と和睦一緩急互ふ相助ることと約一又伯西兒ふ來住もう葡萄牙の小王と和一後より使節と遣りて歐邏巴諸州と盟約と結び互よ高舶と往來せん事と約で一となり

角利伏爾泥亞ハ新默時科と東紅海と隔て相對

崎ちる端島やて其地形殆ど一島嶼のごとく。按ちる小增譯未覽異言中一大島小作るものへ其地形を誤り認一らん。然き其部内々暗得の支派貫通するを以て山の東西氣候同じうらぞ其土人の食物も東部ハ玉蜀黍と常食と西半ハ鯨肉牛豕鷄蒸餅と食ふ此地方小ハ是班牙人種過多ちる故不總て歐邏巴の風俗不類よふことあり闔州人口一萬五千六百小過ぞ但方今ハ農耕の業繁昌して五穀皆產を此州往古

ハ是班牙國小隸モ近世ハ共和政治默時科ト連  
合一政官ハ皆其地より來住モと云

○次卷

○北亞墨利加之部 歐邏巴之部 出來

○亞弗利加之部 豪斯多辣利之部

○亞細亞之部

嗣出

萬國輿地圖說 南亞墨利加終

